

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公表番号】特表2018-532990(P2018-532990A)
 【公表日】平成30年11月8日(2018.11.8)
 【年通号数】公開・登録公報2018-043
 【出願番号】特願2018-511690(P2018-511690)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)
 C 0 8 B 37/00 (2006.01)
 C 0 7 H 15/04 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 G 0 1 N 37/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/574 E
 C 0 8 B 37/00 K
 C 0 7 H 15/04 C S P E
 G 0 1 N 33/53 S
 G 0 1 N 33/53 N
 G 0 1 N 37/00 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月30日(2019.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のG - A - Z炭水化物を含む、基材上に固定された炭水化物部分のアレイであって、各G - A - Z部分は、前記基材上の別々の場所に堆積されており、式中、Gは、1つまたは複数の腫瘍関連炭水化物抗原(TACA)であり、Aは、アルキル、エステル、またはアミドを含む部分であり、Zは、1つまたは複数の脂質鎖、脂質鎖を伴う1つまたは複数のスペーサー基である、アレイ。

【請求項2】

前記TACAが、G l o b o H、ステージ特異的胎児抗原3(SSEA-3)、ステージ特異的胎児抗原4(SSEA-4)、Tn、TF、sTn、ポリシアル酸、Gb3、Gb4、Le^x、Le^y、Le^a、sLe^x、sLe^a、GD1a、GT1b、A2B5、GD2、GD3、GM1、GM2、GM3、フコシル-GM1、Neu5GcGM3および/またはこれらのn-ペンチルアミン官能化バリエーションを含む、請求項1に記載のアレイ。

【請求項3】

前記基材が、表面、固体表面、不透明固体、可視光もしくは非可視光の選択された波長に対して透明である固体、粒子、マイクロバブル、またはビーズから選択される、請求項1に記載のアレイ。

【請求項4】

前記基材が、ニトロセルロースである、請求項1に記載のアレイ。

【請求項 5】

前記複数の G A Z 炭水化物部分が、前記基材上にコーティングされている、請求項 1 に記載のアレイ。

【請求項 6】

前記複数の G A Z 炭水化物における前記 Z 部分が、ファンデルワールス相互作用または疎水性相互作用によって前記基材に接着している、請求項 5 に記載のアレイ。

【請求項 7】

前記炭水化物部分が、多糖、オリゴ糖、糖コンジュゲートの炭水化物部、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、T n、T F、s T n、ポリシアル酸、G b 3、G b 4、L e ^x、L e ^y、L e ^a、s L e ^x、S L e ^a、G D 1 a、G T 1 b、A 2 B 5、G D 2、G D 3、G M 1、G M 2、G M 3、フコシル - G M 1、N e u 5 G c G M 3 および / またはこれらの n - ペンチルアミン官能化バリエーションのうちの一つまたは複数を含む、請求項 1 に記載のアレイ。

【請求項 8】

複合体の検出、疾患の診断、処置の監視または再発の監視において使用するための、基材上に固定された炭水化物のアレイであって、以下：

- (a) 基材を用意する工程と、
- (b) 前記基材をニトロセルロースでコーティングする工程と、
- (c) 前記基材の表面上の別々の場所に複数の G - A - Z 部分を固定する工程とを含む方法によって製作される、アレイ。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のアレイを特性評価する方法であって、固定された前記 G - A - Z 部分を T A C A に対する標識抗体と接触させる工程と、前記抗体とグリカンとの間で複合体を形成させる工程と、前記抗体と前記グリカンとの間で形成された前記複合体を検出する工程とを含む方法。

【請求項 10】

前記標識抗体が、酵素を含む標識、蛍光標識、化学発光標識、ナノ粒子標識を含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記酵素が、アルカリホスファターゼ (A P) または西洋ワサビペルオキシダーゼ (H R P) である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

抗体が、固定された多糖、オリゴ糖、糖コンジュゲートの炭水化物部、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、T n、T F、s T n、ポリシアル酸、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、G b 3、G b 4、L e ^x、L e ^y、L e ^a、s L e ^x、S L e ^a、G D 1 a、G T 1 b、A 2 B 5、G D 2、G D 3、G M 1、G M 2、G M 3、フコシル - G M 1 または抗原の N e u 5 G c G M 3 シリーズを特異的に認識する、請求項 9 に記載のアレイ。

【請求項 13】

式

【化 2 3】

G-A-Z-X

式 1

を有する化合物であって、

式中、

G は、グリカンであり、

A は、エステルまたはアミドを含む部分であり、

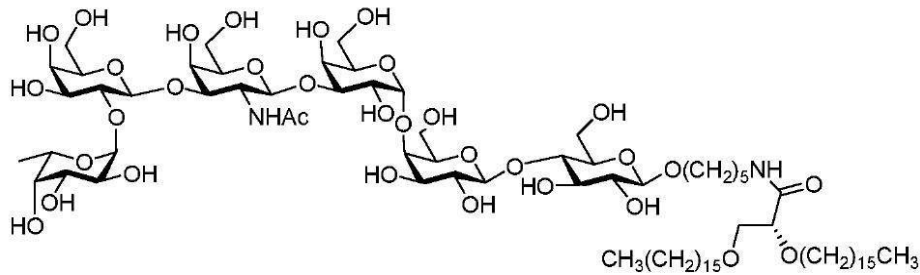
Xは、基材、固体表面、コーティング表面、ポリマー表面、ニトロセルロースコーティング表面、もしくはビーズ表面、前記表面に付着したスペーサー基、または表面にリンカーを接着させるための基を伴うスペーサー基であり、

Zは、1つまたは複数の脂質鎖、脂質鎖を伴う1つまたは複数のスペーサー基である、化合物。

【請求項14】

式

【化24】



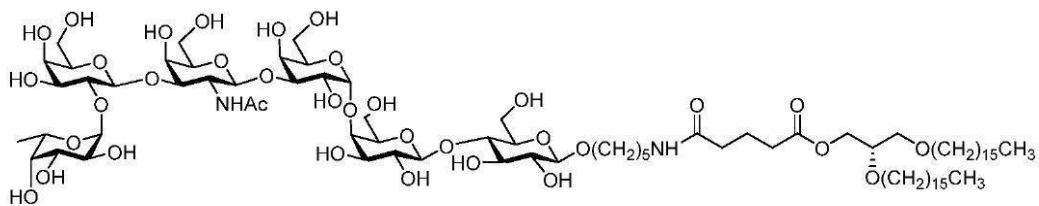
式 2

を有する化合物。

【請求項15】

式

【化25】



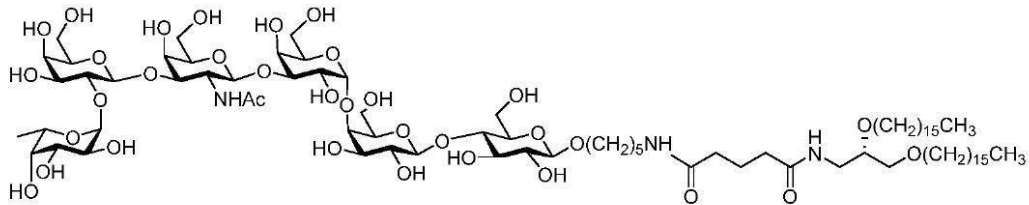
式 3

を有する化合物。

【請求項16】

式

【化26】



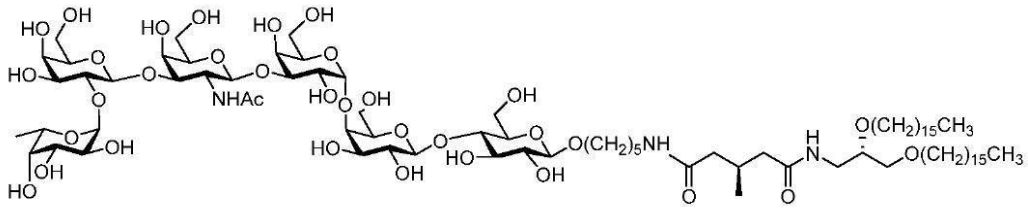
式16

を有する化合物。

【請求項17】

式

【化 2 7】



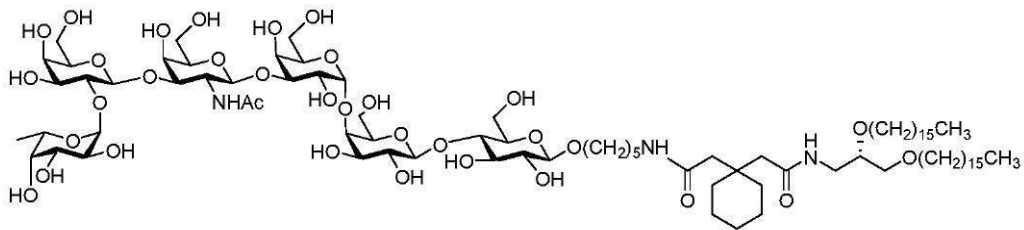
式 17

を有する化合物。

【請求項 1 8】

式

【化 2 8】



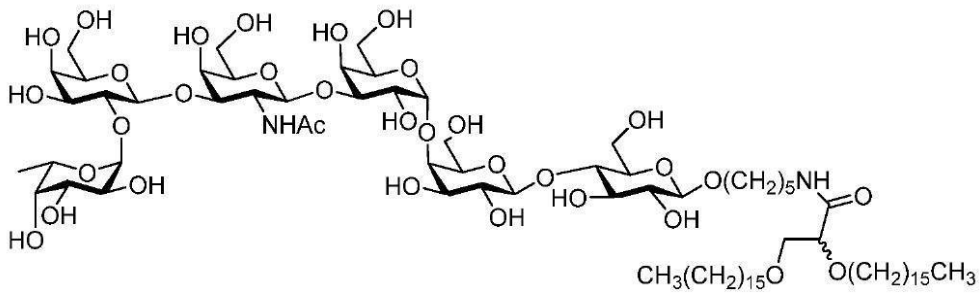
式 18

を有する化合物。

【請求項 1 9】

式

【化 2 9】



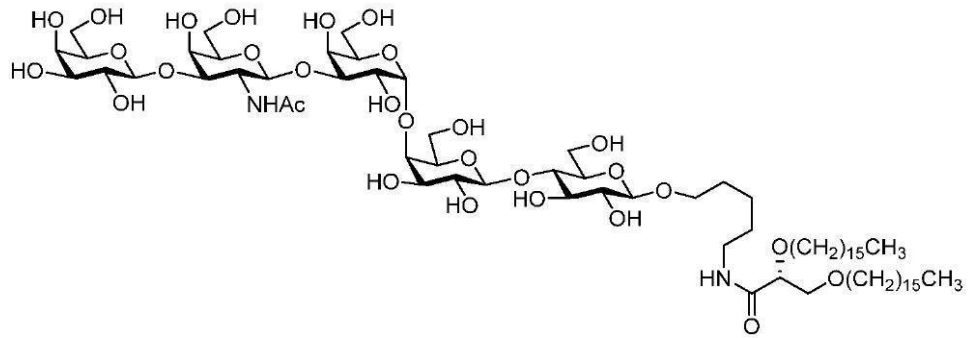
式 19

を有する化合物。

【請求項 2 0】

式

【化 3 0】



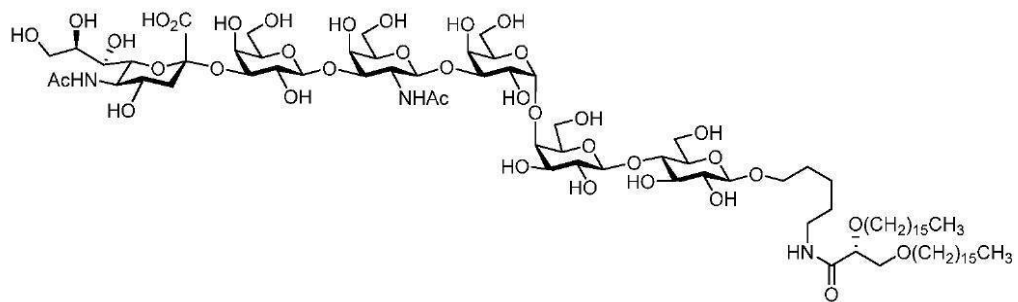
式 20

を有する化合物。

【請求項 2 1】

式

【化 3 1】



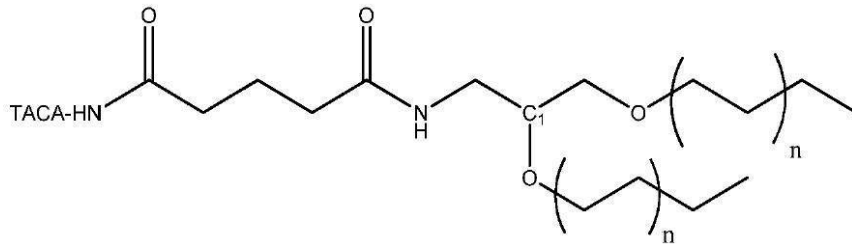
式 21

を有する化合物。

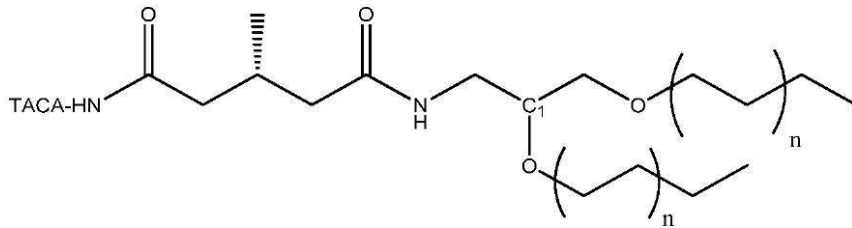
【請求項 2 2】

以下の式

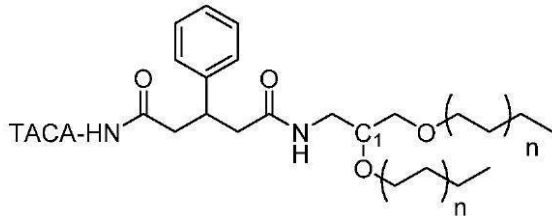
【化 3 2】



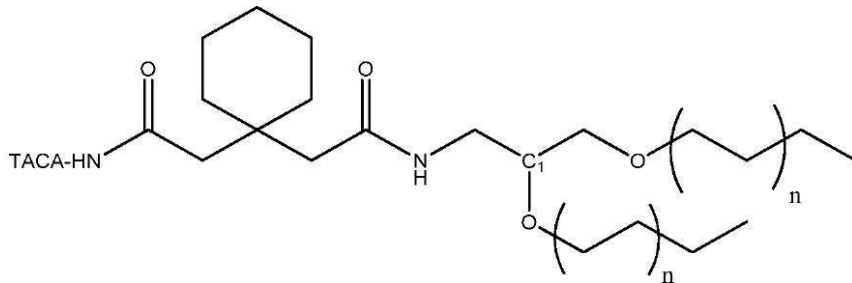
式 11



式 12



式 13



式 14

のうちのいずれか 1 つに従う化合物であって、

式中、キラル炭素原子 C_1 は、ラセミであってもキラルであってもよく、

$n = 5、6、7、8、$ または 9 であり、かつ

TACA は、G1ob o H、ステージ特異的胎児抗原 3 (SSEA-3)、ステージ特異的胎児抗原 4 (SSEA-4)、Tn、TF、sTn、ポリシアル酸、G1ob o H、SSEA-3、SSEA-4、Gb3、Gb4、Le^x、Le^y、Le^a、sLe^x、SLe^a、GD1a、GT1b、A2B5、GD2、GD3、GM1、GM2、GM3、フコシル-GM1、Neu5GcGM3 および / またはこれらの n-ペンチルアミン官能化バリエーションから選択される、化合物。

【請求項 2 3】

請求項 1 3 から 2 2 に記載の化合物の使用を含む、アレイにおける感度を向上する方法。

【請求項 2 4】

相対抗体結合レベルを、がん、癌腫、新生物または過形成を有する疑いがある、疾患の

診断、処置の監視または再発の監視を必要とする対象の、疾患の診断、処置の監視または再発の監視のための指標とする方法であって、

(a) がんを有する疑いがある対象からの抗体を含有する試料を接触させて、前記試料中の抗体を G - A - Z 部分の 1 つまたは複数に結合させる工程、および

(b) 1 つまたは複数の結合した抗体の量を検出する工程

を含み、疾患を有しない対象のレベルと比較した場合の相対抗体結合レベルが、病態を示す、方法。

【請求項 25】

複合体を検出するための方法であって、

(a) がん、癌腫、新生物または過形成を有する疑いがある対象からの抗体を含有する試料を接触させて、前記試料中の抗体を、1 つまたは複数の G - A - Z 部分に結合させる工程、

(b) 1 つまたは複数の結合した抗体の量を検出する工程、および

(c) 疾患を有しない対象のレベルと比較した場合の相対抗体結合レベルを確認する工程を含む方法。

【請求項 26】

前記試料が、血清、血液、血漿、細胞、細胞培地、唾液、尿、またはリンパ節液からなる、請求項 24 または 25 に記載の方法。

【請求項 27】

前記対象がヒトである、請求項 24 または 25 に記載の方法。

【請求項 28】

前記がんが、肉腫、皮膚がん、白血病、リンパ腫、脳がん、神経膠芽腫、肺がん、乳がん、口腔がん、頭頸部がん、上咽頭がん、食道がん、胃がん、肝臓がん、胆管がん、胆嚢がん、膀胱がん、膵臓がん、腸がん、大腸がん、腎臓がん、子宮頸がん、子宮内膜がん、卵巣がん、精巣がん、頰側がん、中咽頭がん、喉頭がんおよび前立腺がんからなる群から選択される、請求項 24 または 25 に記載の方法。

【請求項 29】

グリカン検出のアッセイ値を、がん処置を必要とする対象のがん処置用の抗新生物剤の治療効果を判定するための指標とする方法であって、

(a) 1 つまたは複数の腫瘍関連抗原 (TACA) を含むアレイを、対象からの試料と接触させる工程、および

(b) 1 つもしくは複数の腫瘍関連抗原 (TACA) の結合、または請求項 13 から 22 のいずれか一項に記載の化合物に結合した抗体を検出する工程

を含み、前記グリカン検出のアッセイ値が、新生物に対する処置における抗新生物剤の治療効果を示す、方法。

【請求項 30】

前記試料が、血清、血液、血漿、細胞、細胞培地、唾液、尿、リンパ節液、腫瘍生検または組織培養物からなる、請求項 29 に記載の方法。

【請求項 31】

前記対象がヒトである、請求項 29 に記載の方法。

【請求項 32】

前記抗新生物剤が、担体タンパク質とコンジュゲートした炭水化物抗原またはその免疫原性断片で構成されるワクチンを含む、請求項 29 に記載の方法。

【請求項 33】

前記炭水化物抗原またはその免疫原性断片が、G l o b o H、ステージ特異的胎児抗原 3 (S S E A - 3)、ステージ特異的胎児抗原 4 (S S E A - 4)、T n、T F、s T n、ポリシアル酸、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、G b 3、G b 4、L e ^x、L e ^y、L e ^a、s L e ^x、S L e ^a、G D 1 a、G T 1 b、A 2 B 5、G D 2、G D 3、G M 1、G M 2、G M 3、フコシル - G M 1 または N e u 5 G c G M 3 を含む、請求項 32 に記載の方法。

【請求項 34】

前記担体タンパク質が、K L H (キーホールリンペットヘモシアニン)、D T - C R M 197 (ジフテリア毒素交差反応物質197)、ジフテリアトキソイドまたは破傷風トキソイドを含む、請求項 32 に記載の方法。

【請求項 35】

前記ワクチンが、医薬組成物として提供される、請求項 32 に記載の方法。

【請求項 36】

前記医薬組成物が、G l o b o H - K L H および追加的なアジュバントを含む、請求項 35 に記載の方法。

【請求項 37】

前記追加的なアジュバントが、サポニン、フロイントアジュバントまたは - ガラクトシルセラミド (- G a l C e r) アジュバントから選択される、請求項 36 に記載の方法。

【請求項 38】

前記医薬組成物が、O B I - 8 2 2 / O B I - 8 2 1 を含む、請求項 35 に記載の方法。

【請求項 39】

前記抗新生物剤が、1つまたは複数の炭水化物抗原に結合可能である抗体またはその抗原結合部を含む、請求項 29 に記載の方法。

【請求項 40】

前記がんが、肉腫、皮膚がん、白血病、リンパ腫、脳がん、神経膠芽腫、肺がん、乳がん、口腔がん、頭頸部がん、上咽頭がん、食道がん、胃がん、肝臓がん、胆管がん、胆嚢がん、膀胱がん、膵臓がん、腸がん、大腸がん、腎臓がん、子宮頸がん、子宮内膜がん、卵巣がん、精巣がん、頬側がん、中咽頭がん、喉頭がんおよび前立腺がんからなる群から選択される、請求項 29 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0248

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0248】

本明細書において引用されたすべての参考文献は、法によって許容される限り、参照により本明細書に組み込まれる。それらの参考文献の考察は、単に、それらの著者によって為された主張を要約することを意図する。いかなる参考文献も(またはいかなる参考文献の一部分も)関連する従来技術であると承認されたわけではない。本出願人は、任意の引用された参考文献の正確性および妥当性を検証する権利を留保する。

特定の実施形態では、例えば以下の項目が提供される。

(項目 1)

複数の G - A - Z 炭水化物を含む、基材上に固定された炭水化物部分のアレイであって、各 G - A - Z 部分は、前記基材上の別々の場所に堆積されており、式中、G は、1つまたは複数の腫瘍関連炭水化物抗原 (T A C A) であり、
A は、アルキル、エステル、またはアミドを含む部分であり、
Z は、1つまたは複数の脂質鎖、脂質鎖を伴う1つまたは複数のスパーサー基である、アレイ。

(項目 2)

前記 T A C A が、G l o b o H、ステージ特異的胎児抗原 3 (S S E A - 3)、ステージ特異的胎児抗原 4 (S S E A - 4)、T n、T F、s T n、ポリシアル酸、G b 3、G b 4、L e ^x、L e ^y、L e ^a、s L e ^x、S L e ^a、G D 1 a、G T 1 b、A 2 B 5、G D 2、G D 3、G M 1、G M 2、G M 3、フコシル - G M 1、N e u 5 G c G M 3 お

よび / またはこれらの n - ペンチルアミン官能化バリエーションを含む、項目 1 に記載のアレイ。

(項目 3)

前記基材が、表面、固体表面、不透明固体、可視光もしくは非可視光の選択された波長に対して透明である固体、粒子、マイクロバブル、またはビーズから選択される、項目 1 に記載のアレイ。

(項目 4)

前記基材が、ニトロセルロースである、項目 1 に記載のアレイ。

(項目 5)

前記複数の G A Z 炭水化物部分が、前記基材上にコーティングされている、項目 1 に記載のアレイ。

(項目 6)

前記複数の G A Z 炭水化物における前記 Z 部分が、ファンデルワールス相互作用または疎水性相互作用によって前記基材に接着している、項目 5 に記載のアレイ。

(項目 7)

前記炭水化物部分が、多糖、オリゴ糖、糖コンジュゲートの炭水化物部、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、T n、T F、s T n、ポリシアル酸、G b 3、G b 4、L e ^x、L e ^y、L e ^a、s L e ^x、S L e ^a、G D 1 a、G T 1 b、A 2 B 5、G D 2、G D 3、G M 1、G M 2、G M 3、フコシル - G M 1、N e u 5 G c G M 3 および / またはこれらの n - ペンチルアミン官能化バリエーションのうちの一つまたは複数を含む、項目 1 に記載のアレイ。

(項目 8)

複合体の検出、疾患の診断、処置の監視または再発の監視において使用するための、基材上に固定された炭水化物のアレイであって、以下：

(a) 基材を用意する工程と、

(b) 前記基材をニトロセルロースでコーティングする工程と、

(c) 前記基材の表面上の別々の場所に複数の G - A - Z 部分を固定する工程とを含む方法によって製作される、アレイ。

(項目 9)

項目 8 に記載のアレイを特性評価する方法であって、固定された前記 G - A - Z 部分を T A C A に対する標識抗体と接触させる工程と、前記抗体とグリカンとの間で複合体を形成させる工程と、前記抗体と前記グリカンとの間で形成された前記複合体を検出する工程とを含む方法。

(項目 10)

前記標識抗体が、酵素を含む標識、蛍光標識、化学発光標識、ナノ粒子標識を含む、項目 9 に記載の方法。

(項目 11)

前記酵素が、アルカリホスファターゼ (A P) または西洋ワサビペルオキシダーゼ (H R P) である、項目 10 に記載の方法。

(項目 12)

抗体が、固定された多糖、オリゴ糖、糖コンジュゲートの炭水化物部、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、T n、T F、s T n、ポリシアル酸、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、G b 3、G b 4、L e ^x、L e ^y、L e ^a、s L e ^x、S L e ^a、G D 1 a、G T 1 b、A 2 B 5、G D 2、G D 3、G M 1、G M 2、G M 3、フコシル - G M 1 または抗原の N e u 5 G c G M 3 シリーズを特異的に認識する、項目 9 に記載のアレイ。

(項目 13)

式

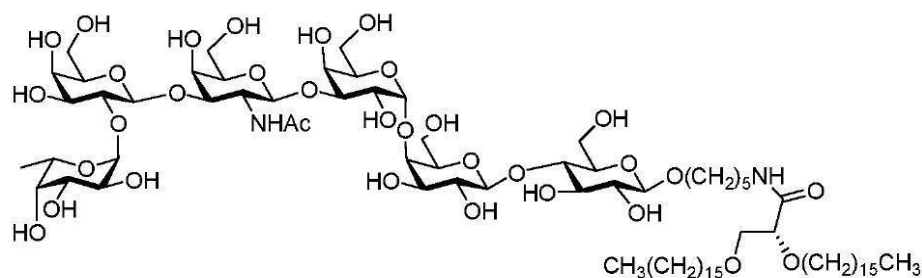
【化 2 3】

G-A-Z-X

式 1

を有する化合物であって、式中、G は、グリカンであり、A は、エステルまたはアミドを含む部分であり、X は、基材、固体表面、コーティング表面、ポリマー表面、ニトロセルロースコーティング表面、もしくはビーズ表面、前記表面に付着したスペーサー基、または表面にリンカーを接着させるための基を伴うスペーサー基であり、Z は、1つまたは複数の脂質鎖、脂質鎖を伴う1つまたは複数のスペーサー基である、化合物。(項目 1 4)式

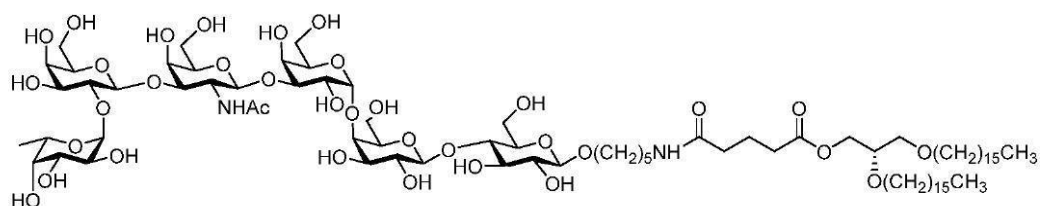
【化 2 4】



式 2

を有する化合物。(項目 1 5)式

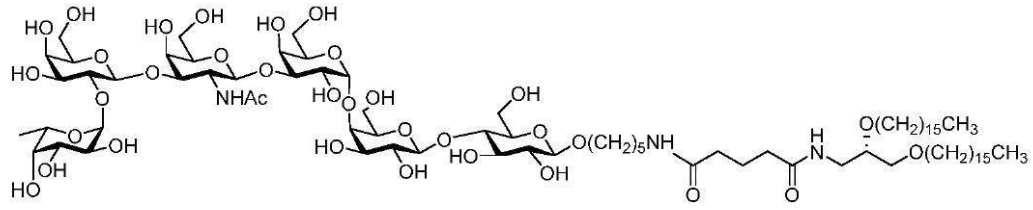
【化 2 5】



式 3

を有する化合物。(項目 1 6)式

【化 2 6】



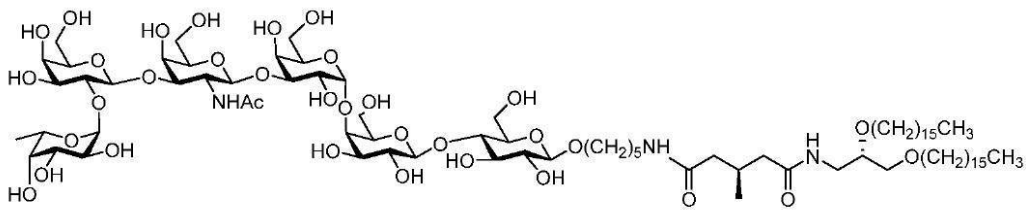
式 16

を有する化合物。

(項目 1 7)

式

【化 2 7】



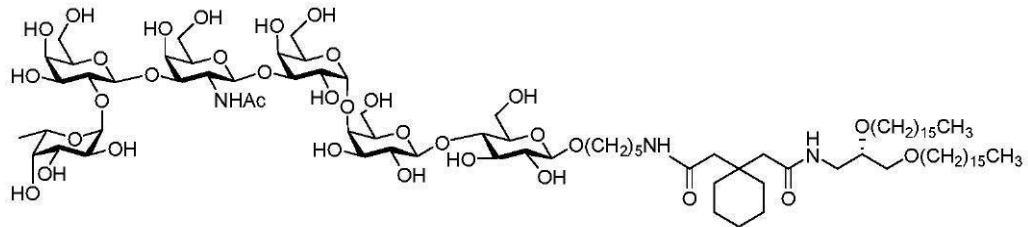
式 17

を有する化合物。

(項目 1 8)

式

【化 2 8】



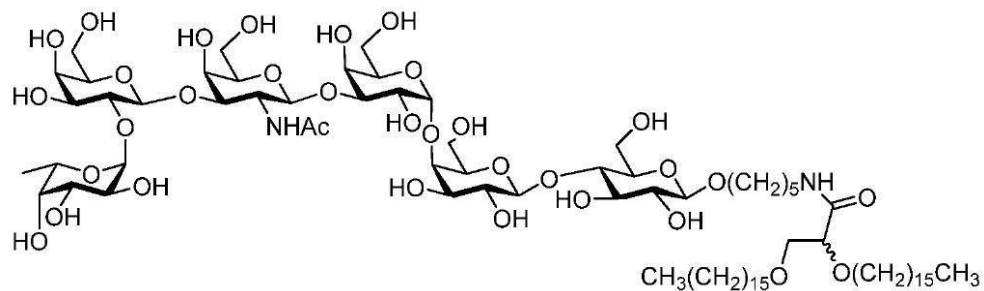
式 18

を有する化合物。

(項目 1 9)

式

【化 2 9】



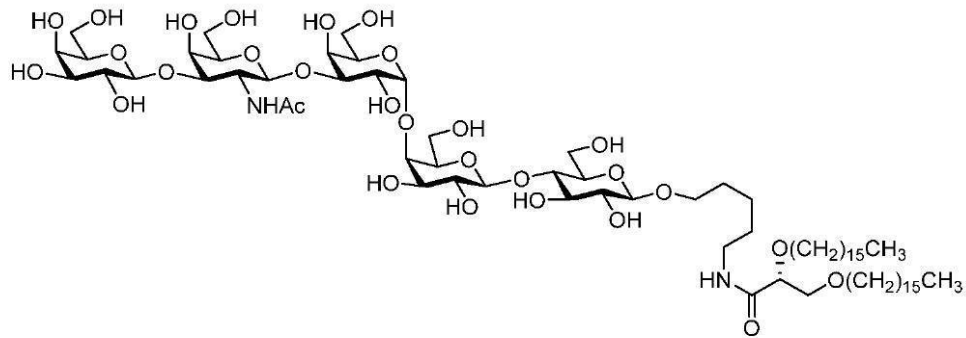
式 19

を有する化合物。

(項目 2 0)

式

【化 3 0】



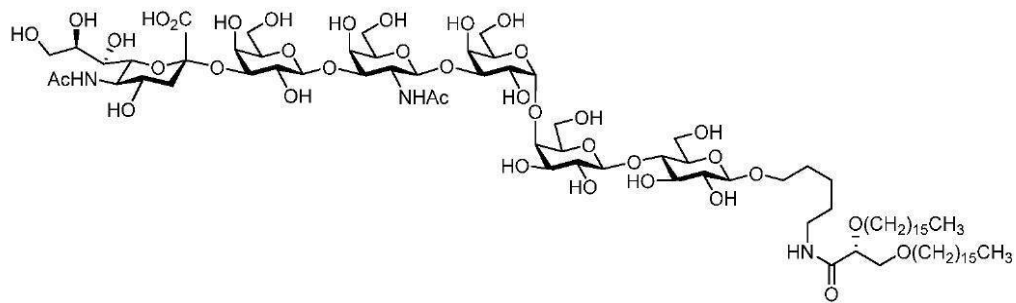
式 20

を有する化合物。

(項目 2 1)

式

【化 3 1】



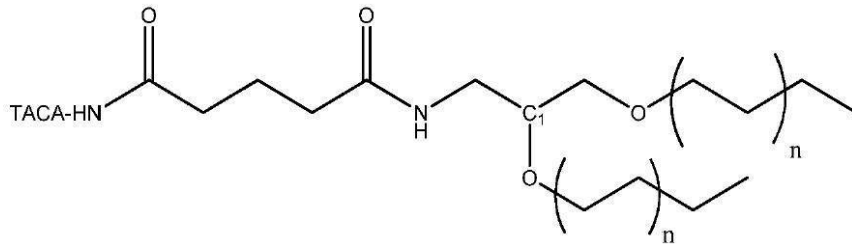
式 21

を有する化合物。

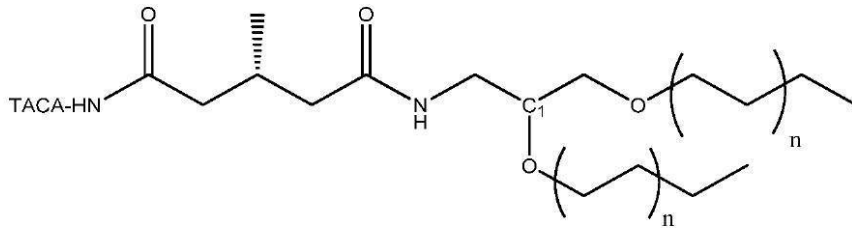
(項目 2 2)

以下の式

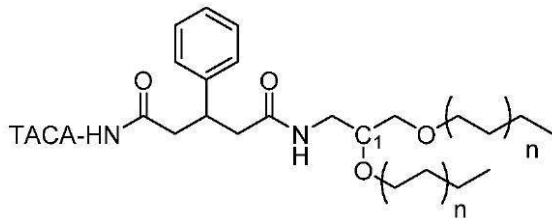
【化 3 2】



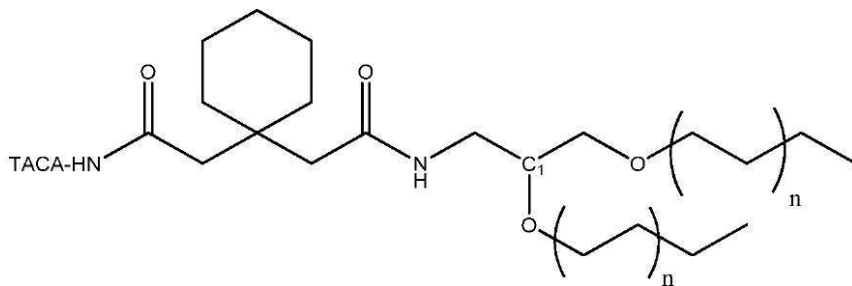
式 11



式 12



式 13



式 14

のうちのいずれか 1 つに従う化合物であって、

式中、キラル炭素原子 C₁ は、ラセミであってもキラルであってもよく、

n = 5、6、7、8、または 9 であり、かつ

TACA は、G1ob o H、ステージ特異的胎児抗原 3 (SSEA-3)、ステージ特異的胎児抗原 4 (SSEA-4)、Tn、TF、sTn、ポリシアル酸、G1ob o H、SSEA-3、SSEA-4、Gb3、Gb4、Le^x、Le^y、Le^a、sLe^x、SLe^a、GD1a、GT1b、A2B5、GD2、GD3、GM1、GM2、GM3、フコシル-GM1、Neu5GcGM3 および / またはこれらの n - ペンチルアミン官能化バリエーションから選択される、化合物。

(項目 2 3)

項目 1 3 から 2 2 に記載の化合物の使用を含む、アレイにおける感度を向上する方法。

(項目 2 4)

がん、癌腫、新生物または過形成を有する疑いがある、疾患の診断、処置の監視または再発の監視を必要とする対象の、疾患の診断、処置の監視または再発の監視のための方法

であって、

(a) がんを有する疑いがある対象から抗体を含有する試料を用意する工程、

(b) 前記試料を接触させて、前記試料中の抗体を G - A - Z 部分の 1 つまたは複数に結合させる工程、

(c) 1 つまたは複数の結合した抗体の量を検出する工程、および

(d) 前記結合した抗体の量に基づいて前記対象の病態を判定する工程であって、前記病態は、疾患を有しない対象のレベルと比較した場合の相対抗体結合レベルに基づいて示される、工程

を含む方法。

(項目 2 5)

複合体を検出するための方法であって、

(a) がん、癌腫、新生物または過形成を有する疑いがある対象から、抗体を含有する試料を用意する工程、

(b) 前記試料を接触させて、前記試料中の抗体を、1 つまたは複数の G - A - Z 部分に結合させる工程、

(c) 1 つまたは複数の結合した抗体の量を検出する工程、および

(d) 疾患を有しない対象のレベルと比較した場合の相対抗体結合レベルを確認する工程を含む方法。

(項目 2 6)

前記試料が、血清、血液、血漿、細胞、細胞培地、唾液、尿、またはリンパ節液からなる、項目 2 4 または 2 5 に記載の方法。

(項目 2 7)

前記対象がヒトである、項目 2 4 または 2 5 に記載の方法。

(項目 2 8)

前記がんが、肉腫、皮膚がん、白血病、リンパ腫、脳がん、神経膠芽腫、肺がん、乳がん、口腔がん、頭頸部がん、上咽頭がん、食道がん、胃がん、肝臓がん、胆管がん、胆嚢がん、膀胱がん、膵臓がん、腸がん、大腸がん、腎臓がん、子宮頸がん、子宮内膜がん、卵巣がん、精巣がん、頬側がん、中咽頭がん、喉頭がんおよび前立腺がんからなる群から選択される、項目 2 4 または 2 5 に記載の方法。

(項目 2 9)

がん処置を必要とする対象のがん処置用の抗新生物剤の治療効果を判定するための方法であって、

(a) 対象からの試料を用意する工程、

(b) 1 つまたは複数の腫瘍関連抗原 (T A C A) を含むアレイを前記試料と接触させる工程、

(c) 1 つもしくは複数の腫瘍関連抗原 (T A C A) の結合、または項目 1 3 から 2 2 のいずれか一項に記載の化合物に結合した抗体を検出する工程、および

(d) グリカン検出のアッセイ値に基づいて、新生物に対する処置における抗新生物剤の治療効果を判定する工程

を含む方法。

(項目 3 0)

前記試料が、血清、血液、血漿、細胞、細胞培地、唾液、尿、リンパ節液、腫瘍生検または組織培養物からなる、項目 2 9 に記載の方法。

(項目 3 1)

前記対象がヒトである、項目 2 9 に記載の方法。

(項目 3 2)

前記抗新生物剤が、担体タンパク質とコンジュゲートした炭水化物抗原またはその免疫原性断片で構成されるワクチンを含む、項目 2 9 に記載の方法。

(項目 3 3)

前記炭水化物抗原またはその免疫原性断片が、G l o b o H、ステージ特異的胎児抗

原 3 (S S E A - 3)、ステージ特異的胎児抗原 4 (S S E A - 4)、T n、T F、s T n、ポリシアル酸、G l o b o H、S S E A - 3、S S E A - 4、G b 3、G b 4、L e^x、L e^y、L e^a、s L e^x、S L e^a、G D 1 a、G T 1 b、A 2 B 5、G D 2、G D 3、G M 1、G M 2、G M 3、フコシル - G M 1またはN e u 5 G c G M 3を含む、項目 3 2 に記載の方法。

(項目 3 4)

前記担体タンパク質が、K L H (キーホールリンペットヘモシアニン)、D T - C R M 1 9 7 (ジフテリア毒素交差反応物質 1 9 7)、ジフテリアトキシソイドまたは破傷風トキシソイドを含む、項目 3 2 に記載の方法。

(項目 3 5)

前記ワクチンが、医薬組成物として提供される、項目 3 2 に記載の方法。

(項目 3 6)

前記医薬組成物が、G l o b o H - K L H および追加的なアジュバントを含む、項目 3 5 に記載の方法。

(項目 3 7)

前記追加的なアジュバントが、サポニン、フロイントアジュバントまたは - ガラクトシルセラミド (- G a l C e r) アジュバントから選択される、項目 3 6 に記載の方法

。

(項目 3 8)

前記医薬組成物が、O B I - 8 2 2 / O B I - 8 2 1 を含む、項目 3 5 に記載の方法。

(項目 3 9)

前記抗新生物剤が、1 つまたは複数の炭水化物抗原に結合可能である抗体またはその抗原結合部を含む、項目 2 9 に記載の方法。

(項目 4 0)

前記がんが、肉腫、皮膚がん、白血病、リンパ腫、脳がん、神経膠芽腫、肺がん、乳がん、口腔がん、頭頸部がん、上咽頭がん、食道がん、胃がん、肝臓がん、胆管がん、胆嚢がん、膀胱がん、膵臓がん、腸がん、大腸がん、腎臓がん、子宮頸がん、子宮内膜がん、卵巣がん、精巣がん、頬側がん、中咽頭がん、喉頭がんおよび前立腺がんからなる群から選択される、項目 2 9 に記載の方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2018532990A5	公开(公告)日	2019-10-10
申请号	JP2018511690	申请日	2016-09-02
[标]申请(专利权)人(译)	オービーアイファーマインコーポレイテッド		
申请(专利权)人(译)	盟友蓼蓝杨森制药, 苹果公司		
当前申请(专利权)人(译)	盟友蓼蓝杨森制药, 苹果公司		
发明人	ユ, ベイウエン タン, ウエイ-チエン リン, シュ-イ ワン, チエン-チ		
IPC分类号	G01N33/574 C08B37/00 C07H15/04 G01N33/53 G01N37/00		
CPC分类号	G01N33/5308 G01N33/57484 G01N33/57488 G01N2400/02 G01N2400/38 G01N2500/04		
FI分类号	G01N33/574.E C08B37/00.K C07H15/04.CSP.E G01N33/53.S G01N33/53.N G01N37/00.102		
F-TERM分类号	4C057/BB04 4C057/CC03 4C057/DD01 4C057/JJ09 4C090/AA02 4C090/BA75 4C090/BB11 4C090/BB12 4C090/BB13 4C090/BB20 4C090/BB25 4C090/BB27 4C090/BB32 4C090/BB33 4C090/BB34 4C090/BB35 4C090/BB36 4C090/BB53 4C090/BB62 4C090/BB65 4C090/BB92 4C090/DA12 4C090/DA25		
代理人(译)	夏木森下 饭田TakashiSatoshi 石川大介 山本健作		
优先权	62/214779 2015-09-04 US		
其他公开文献	JP2018532990A		

摘要(译)

本发明涉及用于制备具有接头和接头的阵列的方法。本发明还涉及鉴定与阵列上的不同类型分子结合的试剂和用于限定阵列上与试剂结合的分子的结构元件的方法。本文提供的阵列和方法可用于表位鉴定, 药物发现和分析工具。本发明提供了有用的聚糖和表位决定簇, 其可用于检测, 诊断, 监测复发和预防癌症。

G-A-Z-X

式 1